

深く憐れみ

シリーズ～神の国～

2013/4/7

マルコ福音書1章40～45節

さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。イエスはすぐにその人を立ち去らせようとし、厳しく注意して、言われた。「だれにも、何も話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたものを清めのために献げて、人々に証明しなさい。」しかし、彼はそこを立ち去ると、大いにこの出来事を人々に告げ、言い広め始めた。

「重い皮膚病」について

- ヘブライ語では「ツァーラート」、ギリシャ語では「レプ
ラ」と呼ばれる病気 ◆肉体的な死◆
 - 伝染性で完治しにくい皮膚病。かつては「らい病」と訳された
- 律法では患者を隔離することが義務づけられている
〈レビ記13,14章〉 ◆宗教的な死◆
 - 「もし、皮膚に湿疹、斑点、疱疹が生じて、皮膚病の疑いがある場合、…祭司の一人のところに連れて行く。祭司はその人の皮膚の患部を調べる。患部の毛が白くなっており、症状が皮下組織に深く及んでいるならば、それは重い皮膚病である。祭司は、調べた後その人に『あなたは汚れている』と言い渡す。祭司は患者を…隔離する。」
 - 「汚れた者」は神に近づくことはできない!

イエス様に近づいた人

- この病の人は人々に接近することを禁じられていた
 - ◆社会的な死◆
 - 「ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、遠くの方に立ち止まったまま、声を張り上げて、「イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください」と言った。」〈ルカ17:12-13〉
- この人は決死の覚悟でイエス様に近づいた
 - 「イエスのところに来てひざまずいて願い…」
- 彼は、イエス様にはこの病を治す力があると信じた
 - 「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」
 - 旧約聖書では、重い皮膚病を治す(清くする)のは神の業である〈モーセ・ナアマン〉

彼に『触れた』イエス様

- イエス様はその人を見て、**深く憐れんだ**
 - “内臓が揺り動かされる”という意味
 - 恐ろしいとも、気持ち悪いとも、腹立たしいとも思わなかった
 - むしろ、まるで死にかけているわが子のように感じた
- イエス様は**手を差し伸べてその人に触れた**
 - 「触れ」と訳されている言葉には「抱きしめる」とも訳される
 - 「触れる」ということは、その人の病(死)を身に負うことである
 - 彼は触れて欲しいと願ったのではなく、イエス様の思いだけを向けて欲しいと言ったのに…

彼に『触れた』イエス様

- イエス様はその人を見て、**深く憐れんだ**
 - “内臓が揺り動かされる”という意味
 - 恐ろしいとも、気持ち悪いとも、腹立たしいとも思わなかった
 - むしろ、まるで死にかけているわが子のように感じた
- イエス様は**手を差し伸べてその人に触れた**
 - 「触れ」と訳されている言葉には「抱きしめる」とも訳される
 - 「触れる」ということは、その人の病(死)を身に負うことである
 - 彼は触れて欲しいと願ったのではなく、イエス様の思いだけを向けて欲しいと言ったのに…

突然現れた見ず知らずの重い皮膚病患者を、わが子のように憐れみ、彼と運命を共にしようと思った!

ここに「神の国」がある

- 神の国とは神の言葉が実行される場所
 - 「わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。」〈ルカ6:47〉
- イエス様は御言葉をその通り実行された
 - 「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。」〈ルカ6:36〉
 - 「自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるか。」〈マタイ5:46〉
- イエス様のおられる所に神の国がある
 - 「今泣いている人は幸いである。あなたがたは笑うようになる」〈ルカ6:21〉

神の国

